

「能力を解放する」

前回の「エステ B プラン」.vol45 にて、「能力を発揮する」というテーマで記事をお届けさせていただきました。おかげ様でいろいろと反響をいただきました。ありがたいことです。今回は、その続編としまして、「能力を解放する」というテーマの内容をお届けしたいと思います。

自分自身の能力

人の能力…というものは…その人がもともと持っている能力…先天的と言いますか、云わば、天から授けた能力…と…後天的に培った能力…の両方があるかと思われれます。

その人が後天的に培った能力や技術というのは、それ自体、素晴らしいものなのですが、今回は先天的に持って生まれた能力、天から与えられた能力、というものに焦点を当ててお届けしたいと思います。

人はどの人も持って生まれた特性・能力というものがあります。間違いなくあります。

それは、その人独自のものであって、人それぞれ違います。神様が…あなたは、この特性・能力を活かして、生きて行きなさいよ…と、神様から与えられたようなものです。

それは、云わば、特性と能力の掛け算のようなもので、人それぞれ、一人々々違うものであるはずです…人とはしゃいんだりするのが好きな人、わりと一人で居るのがいい人、よくしゃべる人、物静かな人、几帳面であったり、大雑把だったり、等々…もう人それぞれで一人々々違います。これは、人が小さい時から、わりとその特長、傾向があって、それがその人の持って生まれた特性・能力であるかと思えます。

この、自分が生きて行く基盤の一部であるかのような、「**自分自身もともと持っている能力**」を自覚し、それを出して行くことができれば、自分が納得できる、自分自身にとっての良い生き方ができるはずなのですが、それがなかなか簡単ではないようです。

「**本来の自分自身の特性・能力**」を自分が認めることができればいいのですが、やはりこれは口で言うほど簡単ではないようです。

以前の、「**エステ B プラン**」vol.40 の「**自分を認める**」って、**難しい？** という記事の前文にも、この事を少し書きました。抜粋してみますと、

（以下、抜粋）
以前からいろいろなところで…「自分を認めましょう」、そうすれば物事はうまく進んでいきます。

…こういった類いのことがよく言われています。最近の自己啓発本などにもよく書かれていますね。

もうこれでもか、というくらい目にするし、耳にもします。

私もこの一連の記事の中で、このことは何度も言ってきました。自分を認めれば、物事はうまく進んで行くというのは、その通りだと思います。

ただ、「自分を認める」ということは簡単ではなく、やはり難しいことであると思います。多くの方からも、「自分を認めたり、

許したりするというのは、そうした方がいいというのは頭では理解できるけど、実際にはかなり難しい」という声もよく聞きます。

ひょっとしたら、この「自分を認める」というのは、人生の大きなテーマかもしれませんね。

（抜粋、以上）

私も、仕事上であるとか、あるいは個人的にだとか、いろいろな人とお話させていただいた中でも、やはり、「自分が持っているもの」だったり、「本来の自分自身の中身」を、なかなか認めるのが難しいと感じている方が多いように思われます。

…本来の自分の特性には、ある程度、気づいているんだけど…自分にもともとある能力は、薄々、わかっているんだけど…なかなか自分自身で認めることができない…こういった事を、よくお聞きします。

実際には、…自分の中の特性・能力を一部分、多少は認めることができるんだけど、その他の部分はまだまだ認めることができない…こういう方が多いと思われれます。

能力を解放する

このように、「**本来、自分自身が持っている特性・能力**」について、疑い、思い悩まれている方はたくさん見受けられます。私も結構、ご相談を受けたりもします。この事に関して、ご自分で何とかしたくて、いろいろなセミナーに参加されている方もいらっしゃいます。

ご自身で悩まれ、考えられて、いろいろやられるのは、良い事であるし、素晴らしいことだと思います。

ご自身の生き方に真剣だからこそ、いろいろ悩まれ、考えられますね。ご自身で現状打破をしようとも考えられていますね。

ただ、「**本来、自分自身が与えられた能力**」を解放し、それを表に出し、その「**能力**」を発揮するのを何かが遮っているとしたら、その、「**能力の解放**」「**能力の発揮**」を妨げているのは、自分自身に他なりません。自分以外はないのです。他の誰かが、その人の思いを妨げることは、できないのです。

他人は、誰かが思い考え、やろうとする事を妨げることはできません。誰かが何かをやろうとする思いに対して、それを遮ったり妨げたりする事はできません。

（傍からケチをつける人はたくさんいますが…そこまでです。）

自分の中の何かをブロックし、ストップをかけているのは、自分自身以外にはあり得ないです。

では、その自分の中のブロックを外し、「**自分の能力**」を解放し、**発揮して行くのに大切な事はと言いますと…これは何度も言っていますが…やはり、「自分自身を認める」**ことが、肝心だと思います。

「自分自身の本来の特性・能力」…これを活かして、世の中をより良く生きて行って下さいと、天から授けた「**本来の特性・能力**」…というものを表に出し、発揮して行くには、その「**自分が持っている特性・能力**」を自覚し、慈しみ、…“これが私なんだ”、“これが私の中身なんだ”…と認めて行くことが、とても大切だと考えます。

以下は、私のことで恐縮です…手前ミソで恐縮です…

私は以前から、聴き上手と言われます。仕事でも、プライベートでも、よく言われます。そして、しゃべる内容もわかり易くて聴き易いと言っていたいただけます。おかげ様で大変ありがたいことです。

ですが、私は小さい頃から、自分から積極的にどンドン前に出てしゃべって行くタイプではありませんでした。親からは、「引っ込み思案」、「物言わず」と、批判的な意味も込めて、ずっと言われ続けていました。それに対しては、反発心も多少ありましたが、やはり、人前に出てしゃべるのはとても苦手、もし何かを発表するようになどと言われてもしたら、卒倒するかもしれないと思っていました。

（逆に、ウチの兄は、本当にしゃべりたがり。小さい頃から、人前でもどこでもずっとしゃべっています。親戚の人からは、口から先に生まれて来たと言われ続けています。笑）

ただ、そんな私も、人の話を聴くことは、そんなに無理をしなくても出来ました。わりと自然な感覚で聴くことが出来ました。

そしてある時（40歳過ぎくらいの頃でしょうか）、「私が人の話を聴ける、よく聴き上手だと言っていただけなのは、私の大きな能力のひとつではないか」と思い至ったことがあります。（人前でバンバンしゃべるのは、まだ苦手意識が少しありましたが…）…世の中にしゃべりたがる人はいっぱいいる。自分を主張したい人もいっぱいいる。だけど、人の話をちゃんと聴ける人は少ない。人の話を最後までキチンと聴ける人は少ない。…私は、曲がりなりにもそれができる。…これは、私の持てる大きな能力なんじゃないか…そう思うことができました。

そして、思い考えれば、…私が人の話をちゃんと聴けるようにと、ずっと雄弁じゃなく居させてくれた…その事をさらに強化するかのようになり、文句をよく言う親を選んで生まれて来させてくれた…これもそうなんだ、そういうことだったんだと思うことができました。

思いここに至ると、「私が、人の話を聴ける、聴き上手と言っていただけなのは、もうとても大切な私の能力であり、とても大切な特性なんだ」と自分自身を心から認めることができました。

…これが、私なんだ、と…これが、生まれてからずっと持ち続けて来たものなんだ、と。

そして、そう深く再認識できると、その大切な能力を磨き、大いに発揮して、それを通じて世の中の役に立って行き続けようと、より一層、そう思えるようになりました。

そしてまた、これが自分の特性なんだと腑に落ちると、少し苦手意識が残っていた人前でしゃべることに対して、あまり苦に思わなくなっていました。…むしろ、楽しみさえ少し感じるくらいでした。…不思議といえば、不思議ですね。…「**自分の特性・能力**」を深く再認識し、自分自身を認めることができたからなのでしょう。自分自身を認めることの副産物というか、良い運

鎖ということなのでしょう。

能力を解放し発揮するのは、あなたです

この前の記事（**エステ B プラン** vol.45「**能力を発揮する**」）でも言いましたが、今、あなたのような方が能力を発揮して行く時代が来ました。これを読んでいるあなたのような、心優しい、人に優しい人が能力を発揮して行く時代がやって来ました。

もし、「**本来の自分自身の特性・能力**」の中で、**自分自身がブロックしているものがあれば、その能力を再認識、認めることによってブロックを外し、能力を解放し、大いに発揮して行きましょう。それが、世の中のためであり、関わりのある人のためであり、自分自身のためでもあると思います。**

前にも言いましたが、アメリカの著名な医学博士 ディーバック・チョプラ博士によりますと、人間は1日に6万回以上もいろいろな考え事をしているそうです。しかも、その大多数は、心配事や否定的な事を考えているそうです。

人間だから、心配事や否定的な事を考えるのはしょうがないにしても、その時間の一部分でも、今まで以上に、もっと自分自身を認めたり、自分の能力を認めたりする思考に変換していった方が楽しくないですか。その方がイイ事が起きそうな予感がしませんか。

これも前に言いましたが、生まれてから80歳まで生きるとしたら、週にすると約4000週です。90歳まで生きたとしたら、約4500週です。何か、想像していたより短く感じませんか。…やはり、人生にはどうしても限りがあります。

その限りある人生の中でも、「**本来の自分自身が持っている特性や能力**」を解放し、**発揮して行くことができれば、今まで以上に、世の中、そして自分自身にも貢献することになって行き、より充実した、楽しい時間を過ごして行けるのではないのでしょうか。**

皆様の益々のご発展をお祈り致します！



ZaiSapo
サイサポ
（株）財務サポートコンサルティング
代表取締役

片上 智英 (カタカミ) (トモヒデ)

TEL 050-1523-1621
E-mail zaisapo55@ybb.ne.jp
HP <http://zaisapo.jp>

プロフィール
国立大学を卒業後、出版・広告関係の企業へ就職。主に営業・マーケティングを担当。その後、出版販売の会社へ転職。拠点マネージャーとして社員採用・育成指導等、拠点運営を20年余り担当。後、（株）財務サポートコンサルティングを設立、現在に至る。医療関係・美容関係・飲食関係を中心にコンサルティング実績多数。また、大手通販会社と提携し、通販システム・ノウハウ提供のコンサルティングも現在展開中。